

第1問

■問題のねらい

この大問は、主に高等学校学習指導要領「公共」の「A 公共の扉」に対応したものである。場面設定は、生徒が文献調査や友人との意見交換をする中で、食品ロスの問題を題材とした課題追究を行う学習過程である。公共的な空間を作り出していく自立した主体に関わり、現実社会の諸課題を見だし、考察、構想する際に活用する選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理についての理解や、それらを活用して事実を基に多面的・多角的に考察する力を求めた。具体的には、伝統や文化、先人の取組や知恵などはそれぞれ固有の価値をもち、集団や社会はそれらと相互に影響を与え合いながら存在していることへの理解や、幸福・正義・公正などに着目して、現実社会の諸課題について考察し、異なる立場に立つ他者の利益なども考慮に入れながら、課題の解決方法について考察する力を問うている。

■問題の概要

	問題の概要	(参考) 高等学校学習指導要領
問1	日常の食生活の中に先哲の思想が生かされていることを読み取る設問である。仏教に関する基礎的・基本的知識を基に、資料から道元の食事に関する考え方を読み取る力を問うている。	2 内容 A 公共の扉 (1) 公共的な空間を作る私たち ア(イ), イ(ア) 3 内容の取扱い (3)オ(イ)(ウ)
問2	持続可能な社会についての理解を基に、社会的事象を考察する設問である。資料からエシカル消費の意味や意義を読み取り、その概念を活用して、消費者の行動を考察する力を問うている。	2 内容 A 公共の扉 (2) 公共的な空間における人間としての在り方生き方 ア(ア), イ(ア) 3 内容の取扱い (3)オ(エ)

問 3	<p>現代社会の諸課題の解決に向けて、様々な立場からの主張に基づいて多面的・多角的に考察する設問である。私法に関する基本的な考え方やメモに提示された行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方など複数の正しい行為に関する考え方についての理解を基に、食品ロス問題の解決方法について考察する力を問うている。</p>	<p>2 内容</p> <p>A 公共の扉</p> <p>(2) 公共的な空間における人間としての在り方生き方 ア(ア) (イ), イ(ア)</p> <p>(3) 公共的な空間における基本原理 ア(ア) (イ), イ(ア)</p> <p>B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ア(ア) (エ), イ(ア)</p>
-----	---	--

第2問

■問題のねらい

この大問は、主に高等学校学習指導要領「公共」の「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」に対応したものである。場面設定は、生徒たちが政治参加に関して学びを深め、身近な話題から議論や決定の在り方について考えた上で、模擬国会を開催する活動に取り組む過程である。よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについての理解を求めるとともに、人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、法、政治及び経済などに関わるシステムの下で活動するために必要な知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を求めた。具体的には、個人の尊重や民主主義、自由・権利など日本国憲法の基礎になる考え方や日本国憲法の基本原則の理解を基に、制度やルールの意味や意義を考察する力や、合意形成に向けて、異なる立場の主張についてその本質を事実や根拠に基づいて多面的・多角的に考察する力を問うている。

■問題の概要

	問題の概要	(参考) 高等学校学習指導要領
問1	公共的な空間を作り出していく政治参加の制度についての知識を基に図にまとめる設問である。選挙制度の歴史に関する基礎的・基本的な理解を基に、有権者の資格要件の変遷を図にまとめる力を問うている。	2 内容 A 公共の扉 (3) 公共的な空間における基本原理 ア(イ), イ(ア) B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ア(イ), イ(ア) 3 内容の取扱い (3)オ(オ)

問 2	主張の対立の基礎にある考え方について考察する設問である。生徒Aと生徒Bの主張を対比させることでその対立の基礎にある考え方を導き出し、その考え方に基づいて複数の事例を考察する力を問うている。	2 内容 A 公共の扉 (3) 公共的な空間における基本原理 ア(ア)(イ), イ(ア) B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち イ(ア) 3 内容の取扱い (3)オ(オ)
問 3	思考実験など概念的な枠組みを用いて社会の課題についての解決方法を考察する設問である。合意形成の在り方について、多数決などの決定方法と、その根拠となる最大多数の最大幸福などの考え方を関連付けて、その方法を取った場合の結果を考察する力を問うている。	2 内容 A 公共の扉 (2) 公共的な空間における人間としての在り方生き方 ア(ア)(イ), イ(ア) B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち イ(ア) 3 内容の取扱い (3)オ(オ), カ(イ)
問 4	国の財政に関する資料に基づき、財政制度や経済政策等について問う設問である。模擬国会における予算に関する質問及び答弁について、その基礎となる資料を読み解く力及び予算や税に関する知識・理解を問うている。	2 内容 B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ア(イ)(ウ), イ(ア)

第3問

■問題のねらい

この大問は、主に高等学校学習指導要領「公共」の「C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち」に対応するものである。場面設定は、生徒たちがSDGs（持続可能な開発目標）から課題を選び、グループで協働して探究する活動の過程である。社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、「A 公共の扉」で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用するとともに、適切な情報を活用し、法、政治及び経済などの側面を関連させて多面的・多角的に考察、構想する力を求めた。具体的には、複数の資料を比較し分類し関係付けながら、事実を基に課題を見いだす力や、課題解決に向けて、様々な立場からの主張を協働して考察し、現実の制度を踏まえ、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に構想する力を問うている。

■問題の概要

	問題の概要	(参考) 高等学校学習指導要領
問1	資料から水資源に関する情報を適切に読み取る設問である。国内外の活動等に関連付けながら、SDGsの観点から、降水量、水資源賦存量及び穀物・牛肉の生産に必要な水の量など複数の資料に含まれる情報を読み取る力を問うている。	2 内容 B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ア(エ) C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち ア
問2	予め与えられた経済指標に関する説明を踏まえて、資料から読み取れる事柄について考察する設問である。「指標の説明メモ」にある経済に関する基本的な指標の考え方に基づいて、所得の不平等について考察する力を問うている。	2 内容 B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ア(エ) C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち ア

問 3	<p>SDG s の目標 4 に関わる複数の資料を比較し分類し関連付けながら、資料を読み取って課題を見いだす設問である。OECD 諸国の諸資料から必要となる情報を読み取り、経済的な不平等が教育に大きな影響を与えるという課題を見いだす力を問うている。</p>	<p>2 内容 B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ア(エ) C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち ア</p> <p>3 内容の取扱い (3)カ(キ), キ(ア)(イ)</p>
問 4	<p>問 3 で見いだした課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し、構想する設問である。OECD 諸国の教育に関わる複数の資料を比較し分類し関係付けながら、日本がSDG s の目標 4 を達成するために必要な政策について、妥当性や効果などを指標にして、論拠を基に構想(選択・判断)する力を問うている。</p>	<p>2 内容 B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ア(エ) C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち ア</p> <p>3 内容の取扱い (3)カ(キ), キ(ア)(イ)</p>